

事業報告書			
医療法人整理番号	00050		
報告期間	令和6年4月1日		
	令和7年3月31日		
1 事業報告書の概要			
(1) 名称	医療法人天眞会	分類①から③のそれぞれの項目（③は社団のみ。）について、該当するものをリストから選択すること。（会計年度内に変更があった場合は変更後。）	
分類①	社団（出資持分なし）		
分類②	その他		
分類③	基金制度不採用		
(2) 事務所の所在地	愛媛県	複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。	
	松山市		
	町名・番地		
	南高井町333番地		
	建物名		
(3) 設立認可年月日	従たる事務所の記載はこちら		
(4) 設立登記年月日	昭和57年3月12日		
(5) 理事長の氏名	昭和57年3月15日		
	清水		
	姓		
	名		
	恵太		
役員及び評議員の人数	11	理事長を含む人数を記載すること。	
役員及び評議員	記載はこちら		
2 事業の概要			
(1-1) 本来業務（病院、診療所）	記載はこちら		
(1-2) 本来業務（介護老人保健施設、介護医療院）	記載はこちら		
(2) 附帯業務	記載はこちら		
(3) 収益業務	記載はこちら		
(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項	記載はこちら		
(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債	記載はこちら	(5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。	
(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債	記載はこちら		
(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設	記載はこちら		
(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容	記載はこちら	全ての指定内容について記載しても差し支えない。	
(9) その他	記載はこちら	当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。（任意）	

事業報告書

1-(5) 役員及び評議員

[illegible]

1-(5) 役員及び評議員

[illegible]

1-(5) 役員及び評議員

[illegible]

1-(5) 役員及び評議員

[illegible]

注) 1. 「社会医療法人、特定医療法人及び医療法第4 2 条の3 第1項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の管理者であることを記載すること。（医療法第46条の5第6項参照）

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第46条の4第1項参照)

事業報告書

2-(1) 本来業務

(開設する病院、診療所(医療法等42条の指定管理者として管理する病院等を含む。)の業務)

[illegible]

2-(1) 本来業務

(開設する病院、診療所(医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。)の業務)

[illegible]

2-(1) 本來業務

(開設する病院、診療所（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務)

[illegible]

2-(1) 本來業務

(開設する病院、診療所(医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。)の業務)

[illegible]

- 注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、指定管理の欄に記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を記載すること。
3. 介護老人保健施設又は介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

事業報告書

2-(1) 本来業務

(介護老人保健施設又は介護医療院(医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。)の業務)

[illegible]

2-(1) 本来業務

(介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務)

[illegible]

2-(1) 本来業務

(介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務)

[illegible]

2-(1) 本来業務

(介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務)

[illegible]

[illegible][illegible][illegible]

- [illegible]

[illegible][illegible][illegible][illegible]

[illegible]

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を委託管理の欄に記載すること。

様式 1 : 2-(3)

事業報告書

2-(3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

[illegible]

2-(3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

[illegible]

様式 1 : 2-(4)-(9)

事業報告書

2-(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

日付	議決又は同意した事項
令和6年5月31日	令和5年度事業報告、決算報告の件
令和7年3月28日	令和7年度事業計画、予算承認の件
令和7年3月28日	令和7年度中の借入金最高限度額の件
令和7年3月28日	役員選任の件
令和7年3月28日	評議員選任の件
令和7年3月28日	令和7年度役員報酬の件

注) 2-(5)、2-(6)については、医療機関費を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

2-(5) 当該会計年度内に発行した医療機関償

[illegible]

注) 医療機関債の発行総額、申込単位、申込期間、利率、払込期日、資金使途、償還の方法及び期限を記載すること。なお、発行要項の写しの添付に代えても差し支えない。
医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。

2-(6) 当該会計年度内に購入した医療機関費

医療機関開業の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由

[illegible]

注）

1. 医療機関債を購入する医療法人は、医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機能を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。なお、契約書又は備付証書の写しの添付に代えても差し支えない。
2. 購入した医療機関債名、発行元医療法人名、購入枚数及び償還期間を記載すること。なお、契約書又は備付証書の写しの添付に代えても差し支えない。

2-(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

日付	開設（許可を含む）した主要な施設
令和7年4月1日	小規模多機能ホーム南高井

2-(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

目付	他の法律、通知等において指定された内容
----	---------------------

注) 全ての指定内容について記載しても差し支えない。

2-(9) その他

[illegible]

様式 2

法人名 医療法人 天真会

※医療法人整理番号

所在地 愛媛県松山市南高井町 3 3 3 番地

財 産 目 録
(令和 7 年 3 月 3 1 日現在)

1. 資 産 額	4,334,130 千円
2. 負 債 額	1,919,168 千円
3. 純 資 産 額	2,414,962 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	974,424
B 固 定 資 産	3,359,706
C 資 産 合 計 (A + B)	4,334,130
D 負 債 合 計	1,919,168
E 純 資 産 (C - D)	2,414,962

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物 (■ 法人所有 □ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

法人名 医療法人天真会
所在地 愛媛県松山市南高井町333番地

※医療法人整理番号 00050

貸借対照表
令和7年3月31日 現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	974,424	I 流動負債	350,370
現金及び預金	428,527	買掛金	43,250
事業未収金	521,444	未払金	59,340
たな卸資産	12,998	短期借入金	90,000
前払費用	10,078	未払費用	108,857
その他の流動資産	1,377	預り金	38,658
前払費用		未払法人税等	3,046
その他の流動資産		未払消費税等	2,346
		その他の流動負債	4,873
		預り金	
		前受収益	
		その他引当金	
		その他の流動負債	
II 固定資産	3,359,706	II 固定負債	1,568,798
1 有形固定資産	3,146,231	長期借入金	1,152,715
建物	1,970,922	その他引当金	407,125
構築物	16,872	その他の固定負債	8,958
医療用器械備品	18,800	その他引当金	
その他の器械備品	42,953	その他の固定負債	
土地	1,093,874		
その他の有形固定資産	2,810		
建設仮勘定			
その他の有形固定資産			
2 無形固定資産	95,027	負債合計	1,919,168
借地権	630	純資産の部	
ソフトウェア	93,824	科目	金額
その他の無形固定資産	573	I 基金	2,414,962
3 その他の資産	118,447	II 積立金	
有価証券	4,769	代替基金	
役員等長期貸付金	4,892	繰越利益積立金	
その他の固定資産	108,786	その他積立金	
その他長期貸付金			
役員等長期貸付金			
長期前払費用		III 評価・換算差額等	
繰延税金資産		その他有価証券評価差額金	
その他の固定資産		繰延ヘッジ損益	
資産合計	4,334,130	純資産合計	2,414,962
		負債・純資産合計	4,334,130

(注) 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

2. 社会医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。

法人名 医療法人天真会
所在地 愛媛県松山市南高井町333番地

医療法人整理番号 00050

損 益 計 算 書
自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日

(単位：千円)

科目		金 額	
I 事業損益			
A 本来業務事業損益			
1 事業収益			2,834,479
2 事業費用			
(1) 事業費	2,728,480		
(2) 本部費	0		2,728,480
本来業務事業利益			105,999
B 附帯業務事業損益			
1 事業収益			671,005
2 事業費用			657,789
附帯業務事業利益			13,216
C 収益業務事業損益			
1 事業収益			0
2 事業費用			0
収益業務事業利益			0
事業利益			119,215
II 事業外収益			
受取利息	243		
その他の事業外収益	92,227		92,470
III 事業外費用			
支払利息	12,229		
その他の事業外費用	20,671		32,900
経常利益			178,785
IV 特別利益			
固定資産売却益	0		
その他の特別利益	6,754		6,754
V 特別損失			
固定資産売却損	0		
その他の特別損失	6,593		6,593
税引前当期純利益			178,946
法人税・住民税及び事業税	23,469		
法人税等調整額	158,011		181,480
当期純損失			2,534

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

法人名 医療法人 天真会
所在地 愛媛県松山市南高井町33番地

※医療法人整理番号

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業の内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
無し									

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
無し							

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

様式 6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人天真会

理事長 清水 恵太 殿

私たち（注1）は、医療法人天真会の令和6年会計年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たち（注1）は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書（注2）の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和7年5月23日
医療法人天真会

監事 大西 聡一

監事 高橋 直子

（注1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注2）関係事業者との取引がある医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書」とし、社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」とする。